



2023年
神戸女子大学附属高倉台幼稚園
園長 木村 奈帆子

明けましておめでとうございます

新しい年「卯年（癸卯）」が始まりました。「卯年（癸卯）」はこれまでの努力が実を結び、勢いよく成長し、飛躍するような年になるといわれています。コロナからの回復を期待するとともに、保護者の皆様やお子様の運気が上がり、楽しいことがいっぱいの1年となりますことを願っております。

今年も教職員一同、園児一人一人に愛情を注ぎ、心も体もたくましく育つよう、寄り添い、支えていきたいと思えます。また、子ども達の輝く未来のために、本園が家庭や地域社会と手を携え、幼児教育や子育て支援に取り組んでまいりたいと考えております。

特に、年度の最終学期である3学期は、慣れ親しんだクラスの中で、自己の力を様々な場面で伸び伸びと発揮するとともに、友達と協同して生活することを楽しむ時期です。子ども達は言葉やしぐさ、表情などでその乳幼児なりに思いを表現します。それをしっかりと見取り、認め、更なる自信や心の成長につなげていきましょう。また、進学・進級に向けて、期待が大きく膨らむ大切な時期です。お家でも安心感や自尊心を高めていけるように、親子の時間を大切にしてください。

今年も園運営にご理解、ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いたします。

お正月遊びや冬の遊びを楽しもう

○かるたやこまなどのお正月遊びを通して、文字や数量に興味をもち、日常生活に取り入れて遊びましょう。

○冬の自然現象に興味や関心をもち、北風の冷たさや吐く息の白さに気付いたり、池や水たまりに張った氷・雪・霜などを見付けたりして遊びましょう。



〔1月の生活習慣〕

- 寒さに負けず、戸外で元気に遊びましょう。
- ポケットに手を入れないようにしましょう。
- ☆うがいは、**まず口の中でのブクブクうがい**、のどのガラガラうがいをするのが有効です。お家に帰ったら、必ずしましょう。
- ※自転車の乗り方が上手になって、こまをはずして乗る子もいることでしょう。乗り方や約束などをお子さんと十分話し合い、気を付けて乗りましょう。

お話で遊ぼう

1学期から毎日、様々な絵本を読み聞かせしてきました。子ども達はお話大好きです。静かな冬に暖かい部屋で読んでもらうお話は、子ども達の心を動かし、お話の世界へと誘っていきます。お話の世界に想像力を膨らませ、ごっこ遊びを楽しみ、そして創作的活動である劇づくりを楽しみます。

各クラスで予定している劇の題材は次の通りです。ご家庭でもこれらのお話について話していただければうれしいです。

りす組「おべんとうなあに？」

うさぎ組「おおかみと7ひきのこやぎ」 ぱんだ組「ぼんたのじどうはんばいき」

ちゅうりっぷ組「からすのてんぷらやさん」 すみれ組「ふしぎなキャンディーやさん」

ばら組「そんごくう」 あじさい組「はなのすきなうし」

感染者数がまた増えてきたことから、今年もお子様のクラスしか見ていただけないと思えます。それぞれに頑張っているところをしっかりとご覧いただきお子様の成長を実感し、喜び合いましょう。

○クラスの友達と共通の目的をもち、考えを出し合いながら、ごっこ遊びや劇づくりを楽しみましょう。

<家庭連絡>

☆寒さが厳しくなりますが、徒歩通園の方は8時45分から9時までの間に登園し、バスの方は必ず発車時刻までにバス停でお待ちください。天候により、バス道路が凍結・渋滞する場合があります。その日の状況によって休園したりバスが遅れたりする場合には、連絡アプリでお知らせします。

○住所やお仕事先等に変更がある場合は、速やかに担任にお知らせください。よろしくお願い申し上げます。

○コロナだけでなく、風邪やインフルエンザも流行する時期です。登園前に必ず検温し、発熱や嘔吐、風邪症状のある場合は、無理をせず、ご家庭で休養してください。

○施設関係者評価会(12月13日)ご報告

日頃より実習を通して本園の教育・保育を参観してくださっている神戸女子大学の幼児教育コースの先生お二人に評価していただきました。

1. 子どもの様子…伸び伸びとよく遊んでいる。また、学年を超えてよく関わり、年長児の姿を見て年少児が主体的に取り組もうとしたり、年長児が優しく接していたりする等、好きな遊びでの子どもの学びが多い。また、保育者が自然に目を向けた保育をし、子どもの興味・関心も強いように感じる。
2. 本園の教育・保育目標及び努力目標…今年度は自分から挨拶をしている子をよく見る。挨拶は人と人との関係づくりのスタートに大切なことであり、幼児期に身に付けておくことが大事である。
3. 保護者アンケート及び自己評価…保護者の要望とコロナ対策はバランスを考えながら無理せずに進めていくとよいと思う。評価項目は、実際に行っている取組の成果が感じられるように、また、具体的にするとよい。
4. 施設及び保育環境…玄関に季節感のある展示があり、親しみがある。熱中症対策、コロナ対策など、時期や状況に応じた環境の工夫ができている。